

令和2年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西高等学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・新型コロナウイルスという前代未聞の多難な状況下において、西高校は、再編統合を見据えて新設学科「教育情報科」を立ち上げ、令和2年度一般入学者選抜で、新設学科のみの募集にもかかわらず1.24倍（同3年度は1.08倍）という高倍率を実現した実績は非常に高く評価される。西高校の継続的な努力が入試を通じて社会的にも高く評価されたものである。
- ・3学科の生徒と新学科の生徒が混在し、複雑な学校運営をしなければならない中で、すべての生徒が年間を通して最良の学校生活を過ごさせていただき、感謝しています。
- ・学校自己評価は妥当である。

2 年度目標ごとの評価

年度目標【視点：心豊かに力強く行き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・西高校は、これまでの英語科・流通経済科・情報科学科の専門教育の豊かな成果を活用し、今後の日本社会を担う若者にとって必要な英語教育および情報教育を融合させた斬新な教育カリキュラムを組んでいる。英語と情報は、広く世界に通用する人材の大きな礎であり、これを基礎にした「教育情報科」の展開は高く評価されるものである。
- ・年度当初の臨時休業による学習の遅れを、夏休みや祝日を活用して例年と変わらない学習状況にさせていただいたり、学校行事や部活動もただ中止するのではなく、感染防止に配慮した形に変えて実施していただけだったのでとてもよかった。

年度目標【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・臨時休業により生徒の日々の指導が大変困難となる中、生徒による家庭学習の習慣化や自主学習は、生徒と教員間における細やかな意思疎通が行われていたことによるものと思量される。特に新型コロナウイルスのため、生徒の日常生活の中で自律した学習意欲の維持は、教員の懇切な指導と家庭の充実した協力関係の中で実現できるものであり、当校の教員の指導については高く評価できるものである。
- ・臨時休業中もウェブページでこまめに情報発信や課題の提供があったので生徒が不安にならずにすみ、感染防止の取組みも十分にやっていただき、安心して通学させることができた。

3 今後の学校運営についての意見

- ・西高校は、創立100周年を迎える中で、大阪の将来を担う若者の育成のため学科改編と統合移転を実現する一大事業を推進することとなる。新たな高等学校の形をとることで、これまでの英語科・流通経済科・情報科学科の伝統を活かしつつ、コロナ後の新時代に対応するカリキュラムとなる「教育情報科」を基軸として、今後も大阪の発展に大きく貢献すると思われる。
- ・来年度は、最後の3学科の生徒が卒業を迎え、100周年もあり、堀江の校舎に通う最後の年でもあります。思い出深い1年となるよう今後もよろしく願いいたします。

4 教育委員会事務局運営方針に係る取組目標の進捗状況

書面決議による回答者全員一致により、

「学校協議会を通して、保護者・地域等の学校運営への参画が」①大いに進んだ